

令和5年度「第6回全国安全指導員連絡会」報告書

令和5年12月9日（土）13：00～15：30

令和5年度「第6回全国安全指導員連絡会」は、WEB（ZOOM）によるビデオ会議形式で開催された。昨年度から、より多くの指導者に参加していただくよう各都道府県5名まで参加できるよう案内をし、全国安全指導員連絡会を開催した。

（司会 熊野委員）

○開催挨拶（全日本柔道連盟 副会長兼専務理事 中里壮也）

中里副会長兼専務理事より開催の挨拶があった。

2015年4月に福岡県で女子中学生が練習中に頭部打撲で、急性硬膜下血腫で亡くなるという痛ましい柔道事故が起きました。この数年、件数は減ったものの重大事故は起きています。柔道は危険ではなく、安全のためにやる、その域まで高めていく必要があると、これが私の原点です。どうか皆様も本日の講習会を有意義に生かしていただき、柔道の安全指導に取り組んでいただきたいと思います。

○会長挨拶（全日本柔道連盟 会長 中村真一）

中村会長のビデオメッセージより下記のお話があった。

コロナ禍で止まっていた社会活動もほぼ平常に戻り、柔道の練習や大会等も以前の状況に戻りつつあります。各地域で柔道の活動が活発になることは喜ばしいことですが、一方で、昨年度から頭部、頸部を中心とした重大事故の報告が急増していることに連盟としても危機感を強めています。

今年度はすでに重大事故1件、重大事故に準じる事故1件の報告があり、急性硬膜下血腫、頸椎損傷などの重篤な事故が発生しています。要因は特定できませんが、コロナ禍以降に練習や試合で頭部、頸部の重大事故が発生する頻度が高くなっています。未来の柔道を担っていく子どもたちの重大事故の根絶は待ったなしの重要課題です。本日の連絡会が充実した有意義な機会となることを期待しています。

○開催趣旨（全日本柔道連盟 重大事故総合対策委員会 委員長 磯村元信）

「第6回安全指導員連絡会」を昨年同様WEB会議で開催することとなりました。今回は100名近くの参加者で開催されています。

コロナ禍の中で頭部頸部の重大事故の発生率が高まっていることで、今回の連絡会が充実したものにしていただきたいと思います。この連絡会は、全国の安全指導・事故防止、その取組の実施格差を無くして、より効果的な安全指導が徹底できるようにというような狙いで行われています。本日の連絡会が充実した会議になることを願っています。

1. 事故につながる危険な場面（重大事故総合対策委員会 委員 松永大吾）

重大事故総合対策委員会、医科学委員会兼任の松永委員による「柔道重大事故 最近の動向」を下記の内容でスライド解説を行った。

- ・重大事故総合対策委員会の沿革
- ・2015-2023 年おもな重大事故
- ・ほとんどが典型的な柔道事故
- ・近年問題視されている事故要因
- ・映像で見る頸椎事故の原因と対策
- ・映像で見る締め落ちの見逃し
- ・ヘッドディフェンス様な防御動作
- ・コロナ時代の子どもに起きている変化
- ・長引くコロナ自粛の心理的影響
- ・コロナ時代の小中高生の心
- ・発達障害の児童も増加
- ・日本スポーツ協会機関誌の最新号でも特集記事
- ・長引くコロナ禍で体力低下と格差拡大
- ・部活動の地域移行
- ・とにかく事故を起こさない なおかつ最悪の事態に備える
- ・危険な場面映像資料（後ほど紹介）

2. 全国柔道事故被害者の会 講演（倉田久子 様）

全国柔道事故被害者の会、代表の倉田久子様「壁の話 安全指導を妨げるもの」と題し、下記の内容について講演されました。

- ・安全指導を妨げる壁
親の壁・子どもの壁 事例 1
親の壁・子どもの壁+医療の壁 事例 2
医療の壁+親の壁・子どもの壁 事例 3
- ・Google フォームを利用した「首から上のけが」について報告
名古屋市立向陽高校の取り組み
- ・高校運動部活動指導者におけるスポーツ関連脳震盪の知識と対策状況に関するパイロット調査
- ・組織の壁

3. 指導者講演（新潟県 阿部塾 阿部高弘 様）

安全な柔道指導の取り組み事例として、新潟県の阿部高弘先生に阿部塾 新発田南少年柔道教室の取り組みをスライドと動画により紹介していただきました。

まずは、スライドで阿部塾の指導目的・活動内容を紹介。その後、ビデオにて実際に子ども

も達の様子など解説を交えて紹介。阿部高弘先生は、柔道のファンを増やしたく、楽しく安全に柔道ができるよう工夫がなされています。

4. 危険な場面映像資料：少年大会特別規程編（重大事故総合対策委員会 委員 三戸範之）
重大事故総合対策委員会の三戸委員より危険な場面映像資料として少年大会特別規程編を動画で紹介を行った。

少年大会特別規程に対応させた危険な映像により、規程の文言だけではイメージしづらい事故につながる反則行為について、共通認識を深め地域差や個人差を減らすことができるようになっていることを説明した。

5. 委員会からの連絡事項（重大事故総合対策委員会 委員 熊野真司）

重大事故総合対策委員会の熊野委員より、全国の安全講習会の実施報告書の集計結果の説明がなされた。

6. 質疑応答（重大事故総合対策委員会 委員長 磯村元信）

重大事故総合対策委員会の磯村委員長が対応。

- ・少年大会特別規程の変更
- ・少年大会特別規程の変更の経緯
- ・映像の使用方法について
- ・映像の入手方法
- ・無理な巻き込みについて審判の解釈が違うが今後どうなるか

7. 閉会挨拶（重大事故総合対策委員会 委員長 磯村元信）

最後に、重大事故総合対策委員会 磯村委員長より、閉会の挨拶があった。本日の講師に対してのお礼と参加した全国の指導者に対する「安全指導の継続と徹底」をお願いして閉会となった。

○「第6回全国安全指導員連絡会」アンケート

連絡会后、各都道府県へ「第6回全国安全指導員連絡会」のアンケート調査を実施。
43都道府県より回答があった。

1. 参加者 43都道府県 82名

2. 感想について

- ・毎回内容の濃い連絡会で大変勉強になっております。
- ・松永先生の報告は的確な注意喚起で大変参考になりました。

- ・被害者の会倉田さんの講演も毎回納得できる内容で柔道事故は絶対に起してはいけな
いと再認識します。
- ・安全指導に加え、楽しく柔道を指導する方法を学んだ。
 など、安全指導について肯定意見が多数
- 3. 質問について
 - ・資料の請求や活用について
 - ・少年規程と危険技について
- 4. 要望や改善点
 - ・安全指導（良い事例）や事故防止のためにより詳細な分析に着手しては
 - ・運営方法に関しては ZOOM と対面の両方の意見
 - ・日曜開催希望
 - ・チャットと挙手もありにしてほしい
 - ・少年規程については審判委員会の方も含んだ会議
 - ・ルール変更の経緯、小学生団体戦の廃止の経緯を説明してほしい
 - ・資料の配布、連絡会の内容の共有

以 上